



金岡南中

校報 9 月号 堺市立金岡南中学校

令和 7 年 9 月 1 日発行

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤として

- ・学びの楽しさを知り、自分から学びに向かう生徒を育成する
- ・自分自身や周りの人を大切にできる生徒を育成する

校長室から

2 学期が始まりました。皆さんが「悪い時間、悪い場所、悪い人」の三つを重ねない、という安全・安心の原則を守ってくれた結果でしょう。暑くて長い夏休みの間、大きな事故もなく過ごすことができました。この期間を利用して、普段はできないような経験を重ねた人も多かったのではないのでしょうか。

嬉しいことに、部活動などにおける素晴らしい成果の報告もたくさん寄せられています。堺市中学校総合体育大会では、最後の活躍を終えた 3 年生が後輩たちに部活動の主力を引き継いでいく姿を見ることができました。伝統を受け継いだ 1、2 年生によって、金岡南中学校がさらに躍進することを楽しみにしています。

その一方で、今後もしばらくは暑さが続くという予報が出ています。夏休み期間中に頑張った分、負荷がかかっていますから皆さんの心身に影響が及ぶ可能性もあります。しばらくの間は睡眠と食事をしっかりとって、体力の回復に努めるとともに、休みの間に崩れた生活習慣を見直して、一日も早く生活のリズムを取り戻すように心がけてください。2 学期は合唱コンクールや文化活動発表会などの大きな行事の開催も予定されています。クラス、学年、学校の仲間たちと力を合わせ、素晴らしい思い出を創り上げる充実した時間を過ごしましょう。

校長室から その 2

6 月に全員喫食制給食が始まりましたが、金岡南中学校では給食係はじめ皆さんが一生懸命に役割を果たしてくれているおかげで、大規模校であるにもかかわらず、短時間に配食することができています。さすが・金岡南の皆さんだと誇らしい気持ちです。一方、残念なこともあります。エプロンを忘れる人が多いことです。利便性を考えて使い捨てエプロンを利用していましたが、使用量が多過ぎて負担も大きいため、今後は布製エプロンの貸出に移行します。エプロンを忘れて借りた生徒のご家庭では、洗濯してから返却してください。給食係業務に支障が出ますので、エプロン持参と貸出エプロン早期返却の徹底にご協力をお願いします。

戦後 80 年

戦後 80 年という区切りの年であったためか、戦争を振り返る報道や番組がテレビやネットを賑わせていました。私の父親は先の大戦の時代、ちょうど十代後半だったのですが、当時の学制は進学年齢に幅があったので、同学年でも年齢が上の友人の多くは大学生活を繰り上げて戦地に向かう、いわゆる学徒出陣の世代でした。その父が痛恨の出来事として語っていたことがあります。戦場に向かうことを告げに来た友人に校内の卓球場で出会ったそうなのですが、その場に居合わせた同級生は誰も卓球の手を休めなかったというのです。「俺、召集された」と話す友人に皆は「そうか」と応えて振り返ることもなく別れ、そのままその友人は戦死して二度と会うことがなかったのだそうです。ドラマならいろいろと語り合うシーンが続くはずのシチュエーションです。「誰ひとり、振り返らなかったんだ。」父は高齢になってからも卓球台を見るたびに、「あいつをちゃんと見送ることができなかった。戦場に向かうことが当たり前になっていて感覚が麻痺していた。あいつに悪いことをした。」と何度も同じ話を繰り返していました。父を含めて、卓球を続けた友人たちが冷たい心の持ち主だったとは思いたくありません。だからこそ、戦争には人の心を「無関心さ」に満ち溢れさせてしまう恐ろしい力があることを、父の思い出話が教えてくれているように感じます。

国際刑事司法裁判所 (ICC)

これまで何度もお伝えしていますが、国際刑事司法裁判所は国際社会における最も重大な犯罪、つまり集団殺害犯罪、人道に対する犯罪、戦争犯罪、侵略犯罪を犯した個人を、国際法に基づいて訴追・処罰するための機関です。歴史で学ぶニュルンベルク裁判、東京裁判、旧ユーゴスラビア国際戦犯法廷などのように犯罪発生後に臨時的に設ける法廷ではなく、歴史上初の常設の国際刑事裁判機関として 2002 年に設立されました。国際社会が協力して、こうした犯罪の処罰を徹底することを通じて犯罪の発生を防止し、国際の平和と安全の維持に貢献することを目的としています。

現在、その所長を務める赤根智子さんによれば、冷戦終結後の僅かな期間の微妙なパワーバランスによって、世界各国が協力して創り出した機関であり、一度閉鎖されてしまえば復活させることはできないと言われていました。

ウクライナにおける戦争犯罪、人道犯罪の処理を巡っては、プーチン大統領などに逮捕状を発出したため、ICC は赤根所長をはじめとする裁判官たちがロシアから指名手配されるという報復的な措置を受けています。

裁判所のあるオランダのハーグから故郷日本に向かう飛行機の経路にも注意しなければならぬ状況（ロシア勢力圏内に強制着陸させられる可能性がある）の中で、赤根所長は最近、『戦争犯罪と闘う 国際刑事裁判所は屈しない』(文春新書)を執筆し、この世界を力の支配の時代に戻さず、法の支配による平和で安定した世の中であり続けるため、日本を含む各国に協力を求めています。

ちなみに ICC のロゴマークは、金岡南中学校と同じ「天秤」をオリーブの葉で囲んだものです。金岡南中学校の皆さんの制服の胸を飾るエンブレムと同じ「天秤」のロゴマークの下で、世界の平和のために命懸けで働いている日本人がいることを忘れずにください。

9 月の予定

- 2 日 3 年生チャレンジテスト
- 10 日 見守る DAY 3 年生研究授業
- 12 日 教育実習終了
- 24 日 中間テスト①
- 25 日 中間テスト②
- 26 日 再試験日
- 29 日 諸費引落し日



災害予防

9 月 1 日は防災の日です。いまだに 102 年前の 1923 年 9 月 1 日に発生し、10 万人を超える犠牲者を出したと言われる関東大震災の教訓を忘れず、災害発生への備えを続けるための日とされています。夏休み中の 7 月末にはカムチャッカ半島沖の地震による津波警報が発令されたことはまだ記憶に新しい出来事でしょう。ハザードマップによれば金岡南中学校周辺は津波災害の危険性はそれほど高くありませんが、豪雨等による水害に対する備えは忘れることができません。現在、地域の方々にとって頼りになる安全・安心な避難所として利用していただけるように、金岡南中学校体育館の空調設備工事が進められています。いざというときにあわてることのないよう、本校体育館へ避難する際の手順や家族間の連絡方法等について、防災の日をきっかけに話し合ってみるのはいかがでしょうか。

ホームページのご案内

金岡南中学校ホームページを随時更新しています。次の URL または QR コードから最新の金岡南の姿をぜひご覧ください。(URL <https://www.sakai.ed.jp/weblog/index.php?id=sakai114>)



